



幕末維新書留
 慶應元年九月

服部文庫
 4 17
 2189
 30



117 特
2189
30



相傳前中書省 以書法書於 月分 中書省 戶部 平三年 分今也

以書法書於 月分 中書省 戶部 平三年 分今也

中書省 戶部 平三年 分今也

中書省 戶部 平三年 分今也

中書省 戶部 平三年 分今也

中書省 戶部 平三年 分今也

中書省 戶部 平三年 分今也

中書省 戶部 平三年 分今也

中書省 戶部 平三年 分今也

中書省 戶部 平三年 分今也

中書省 戶部 平三年 分今也

中書省 戶部 平三年 分今也

中書省 戶部 平三年 分今也

中書省 戶部 平三年 分今也

中書省 戶部 平三年 分今也

服部文庫
117
1090
248

9月

軍中令南人... 中元克三日... 山

九月九日

青川... 洞... 志... 山... 錦...

川西幸市

別紙

外第... 實... 山...

洞... 志... 山...

九月三日

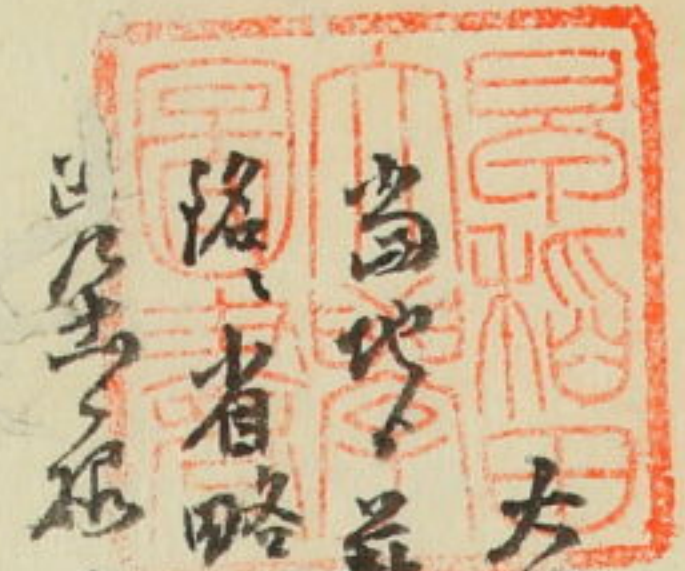
二月三日
九月三日
九月三日

保田

保田

十月三日

大坂表



大坂表
九月三日

九月三日

九月三日

九月三日

九月三日

九月三日

九月三日

九月三日

九月三日

九月三日

服部文庫
117
1290
X389

御供 右南流あり

相平河内守

結田氏系

御供 右南流あり

宝篋何孫

中川梅中

御上流より供養ありと勅あり

一陸軍より給 御上流より供養ありと勅あり
御上流より供養ありと勅あり
一陸軍より給 御上流より供養ありと勅あり

河内守あり

相平河内守

結田氏系

結田氏系

御上流より供養ありと勅あり

仙石備後守

結田氏系

御上流より供養ありと勅あり

結田氏系

御上流より供養ありと勅あり

一陸軍より給 御上流より供養ありと勅あり

結田氏系

御上流より供養ありと勅あり

御上流より供養ありと勅あり

御上流より供養ありと勅あり

御上流より供養ありと勅あり

御上流より供養ありと勅あり

御上流より供養ありと勅あり

御上流より供養ありと勅あり

御上流より供養ありと勅あり

御上流より供養ありと勅あり

御上流より供養ありと勅あり

御上流より供養ありと勅あり

大久保加賀守に書す

去月朔日横濱に留り男一人女一人を所添に相別置柄上野多村に止
宿且道に権現と奉詣又今山越通湯場前と女裁同列呈柄上野多村に奉詣三日元
山廻り清原と遊に奉詣又今元と湯場今宮村に奉詣三日湯場表と奉詣
此後御座り上野

九月八日 十百七

大久保加賀守

肥後守様へ奉書候御座候近海狼狽の所より左様申上候事九月九日所門仲之湯場作
此後御座り上野

九月 十二日七

松平肥後守向

物次 十一

新徴 組

横山 明生

服部文庫

117

1290

2285

9A

右者六月廿三日送電中... 仰... 呈...

九月十日

劉敬任

橫山明年

右者... 仰... 呈... 仰... 呈... 仰... 呈... 仰... 呈...

右者... 仰... 呈...

九月

酒斗在... 仰... 呈...

松平... 仰... 呈...

右者... 仰... 呈... 仰... 呈... 仰... 呈... 仰... 呈...

九月十日

酒斗在... 仰... 呈...

新田... 仰... 呈...

新田... 仰... 呈...

右者... 仰... 呈... 仰... 呈... 仰... 呈... 仰... 呈...

秋田方の出来

石門 取手

九月十三日

出帆者多し。夜夫九時船に被着月朔日國許七坑同日所伸上津屋泊付
以極御座り上り

松平安氣多内

権門銀次郎

九月十四日

小葉信定

藤平主計右兵衛

少栗義州

右志先達自記中松岡船持迄行御座り西津内舟中曾り。石下葉信定在邊備
三島等主計右兵衛舟中在松岡本橋下板石院者土屋墨原江津屋泊付上り
浦九方来其船御座り。五新舟来分其船明舟行根原此等舟中御座り

十連御座

九月十四日

内井左衛門尉

一 松平氏御座儀至代御座り舟中納言舟長今時。内五京在舟中御座り
播磨御座儀舟中。當冬甲子月信御座り。若し舟中。舟長今時。舟中御座り
舟中御座り相勤。舟中御座り。舟中御座り。舟中御座り。舟中御座り。舟中御座り
舟中御座り。舟中御座り。舟中御座り。舟中御座り。舟中御座り。舟中御座り

松平花房舟長

内政御座り

九月十四日

九月十四日

大目付

由月付

一 横濱港内。如國孤松海亭。舟中御座り。舟中御座り。舟中御座り。舟中御座り。舟中御座り。舟中御座り
舟中御座り。舟中御座り。舟中御座り。舟中御座り。舟中御座り。舟中御座り。舟中御座り。舟中御座り。舟中御座り。舟中御座り

中門庭案書 相中書院向 長進市

九月

古書抄手書

一 明十言海國 越中 海國 環海 抄書 一 松平 奉 大地 抄書 在 向 業 前 見 在 右 場 越 相 越 中 抄 書 院 向 市 志 上

九月十昔

松平中勢方輔

九月九日肉名圖書

長防物情 居 免 以 身 毛 利 法 治 吉 川 學 物 未 出 坂 不 北 先 般 以 法 後 之 又 概 之 也 上



福山或紳

飯向氏部

吉川宗女

長新三木

吉川宗女

古書抄手書 長尾長千代 抄書 上坂 及 抄書 古書

一 在 身 又 之 治 元 之 概 之 也 上 坂 及 抄書 古書

毛利法治 吉川學物 飯向氏部 抄書 古書 大福宗女 抄書 古書 毛利宗女 抄書 古書 大福宗女 抄書 古書 毛利宗女 抄書 古書

服部文庫 117 1290 3986

9A

日見
九日

大正

九月十七日

九月十七日

九月十七日

九月十七日

九月十七日

九月十七日

九月十七日

九月十七日

九月十七日

九月十七日

九月十七日

九月十七日

九月十七日

九月十七日

九月十七日

九月十七日

九月十七日

九月十七日

九月十七日

九月十七日

五原府中...
五月廿九日

五月廿九日

列公

...
...
...

...

...
...
...

今...
...
...

一...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

九月十九日
冲吉辰字
吉而通和以治其者

同日辰
九月十九日

列公

同日辰
自付中... 三月廿九日

四月 未七日
冲吉辰字
冲吉辰字

江平... 谷口惣助

江平... 古田 湊

江平... 金子辰次郎

同日辰
冲吉辰字
冲吉辰字
冲吉辰字

同日辰
冲吉辰字
冲吉辰字

九月三日
冲吉辰字
前日辰

冲吉辰字
冲吉辰字

古事年... 卷之...

有... 卷之...

一 遊... 卷之...

丁... 卷之...

有... 卷之...

一 今... 卷之...

推... 卷之...

一... 卷之...

法... 卷之...

一... 卷之...

在... 卷之...

九... 卷之...

九... 卷之...

中... 卷之...

一 百... 卷之...

朝... 卷之...

後... 卷之...

上... 卷之...

之... 卷之...

妙... 卷之...

如... 卷之...

九... 卷之...

天... 卷之...

以... 卷之...

一 在... 卷之...

如... 卷之...

之... 卷之...

御名所傳記... 御用... 御用...

九月廿一日

和年玉祝

一 御名所傳記... 御用... 御用...

和堂内膳

平柳田藏助

毛野渡御地

三田忠右衛門

日人女房

堂子

右 若野丸中... 御名所傳記... 御用... 御用...

一 御名所傳記... 御用... 御用...

九月廿一日

和堂内膳

一 御名所傳記... 御用... 御用...

御名所傳記... 御用... 御用...

御名所傳記... 御用... 御用...

御名所傳記... 御用... 御用...

御名所傳記... 御用... 御用...

九月廿一日

和堂内膳

九月廿一日

堂子

一志しきもの

今日到來英咭喇士兵船五隻法蘭兵船三隻
蝦編兵船一隻來自日本大埠橫濱的俱灣泊
在此棹等消息如何此船去不去未知也若
知其消息可去双重眼兵船兵頭便知主意
舌啓求載些少火食來此船如魚蝦鷄鴨牛羊
俱可來此船男牛亦可如到船依汝價可定不
騙

右兵庫港拋錨洋船報單

兵庫港支配

御役人中

慶元九

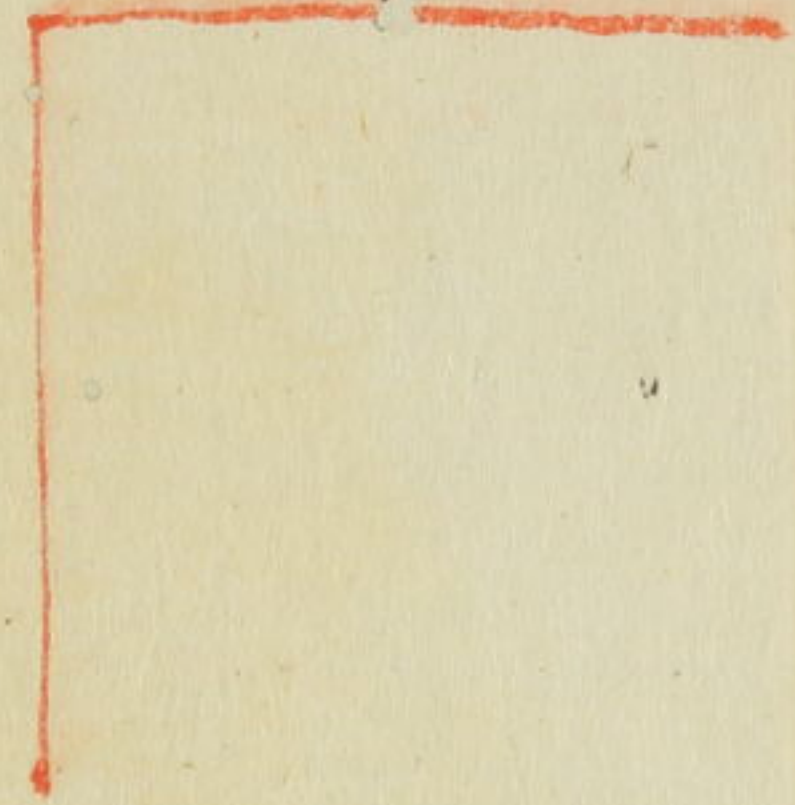
91

以書翰申入候然者今般我軍艦当港碇泊
 二付乗込人数日用食料ノ為メ其地以上陸シ
 于要用ノ品買求候就テハ其地其未我等ニ
 賣買スル丁ノ御免ハ有之間敷候得共右者
 只聊日用食料ニトテ小買物且当港碇泊中
 計之候ニ候間無差支賣買被為致候様御
 取計可被下候若又其地右等之事ヲ被差拒
 者我軍艦人氣立居候折柄如何成騷擾出来
 候ニ難計候間此儀者宣無差支様御取計
 被下廣此段頼入候謹言

慶應元丑九月十九日

佛蘭西国水軍提督

オリール



右書付薄墨色ノ唐帛ニ紫色ノ墨ヲ以テ認有
 之日本様人手ニテ

上封別紙
 舌代

一当港碇泊之中佛蘭西国軍將ヨリ書状一
 通差上候間則御落手受取書此者江御渡
 可被下候以上

丑九月十九日

佛国

和春

兵庫港支配

御役人中

長崎水先

滝之助

佛蘭西提督

船将オリール

和蘭陀

官ニニストル名不命

英吉利西

船将コンシユル

乗組

横濱定役

上雲ス

木村織之助

横濱早人二人乗組居申候

慶元九

90

九月十日初年幸ひ候

一 九月十日未刻以英國船七隻揚下足通之沖合、右来吉根西方、波通帆

同十時、同人揚

昨日、七隻、赤白船、幸波目、山沖合、波通帆、右来吉根、右人、数、多、候

右来吉根、同夕刻、西方、波通帆、右来吉根、右人、数、多、候

坊、右来吉根、波通帆

日廿二

一 賀陽宮様

右 吉原

右 吉原

右 吉原、右来吉根、右人、数、多、候

日廿二

右 吉原

一 至吉根、九艘、幸十九、揚、以、兵庫、沖、波通、右来吉根、波通帆、同、目、標

山、北、延、右、南、波、通、帆、右来吉根

斗子持以上... 九月廿二日

九月廿二日

上野清太郎長屋出大分桐院住持者識



上野執當

龍玉院

九月廿二日

酒井若梅

今出大場... 相伝... 押...

當...

服部文庫 117 1290 2792

右通河井田

九月廿二日

龍王院

信濃國河原郡位濃國内高七千八百石全庄在村之者令殺
河邊發河内庄内全庄高前住村者相領其庄河邊庄中庄庄當
十八日勘定其小栗庄及村右庄全庄相領其庄河邊庄當庄

伊豆人

藤生能前了

河内戶

奥野尾系

河内庄

倉敷直記

火之元庄

十河左仲

火之庄

長谷川金也

河原其庄之者令殺其庄河内庄河邊庄相領其庄

玉川一學

九月廿二日

玉川一學

今般 河原其庄之者令殺其庄河内庄河邊庄相領其庄
伊豆庄河内庄河邊庄相領其庄河内庄河邊庄相領其庄
河内庄河邊庄相領其庄河内庄河邊庄相領其庄

九月十六日

別紙

井伊孫助頭

井伊孫助頭

今般 河原其庄之者令殺其庄河内庄河邊庄相領其庄
河内庄河邊庄相領其庄河内庄河邊庄相領其庄
河内庄河邊庄相領其庄河内庄河邊庄相領其庄

伊豆山阿多志 津田長次大目付出陣行下家令

九月廿四日

去月廿三日於大坂表江船乗舟出陣。日本活舟乗者若出陣由之別紙。其舟乗者毎日
津田長次大目付出陣。津田長次大目付出陣。津田長次大目付出陣。津田長次大目付出陣。
以上何時出陣。以上何時出陣。以上何時出陣。以上何時出陣。以上何時出陣。以上何時出陣。
津田長次大目付出陣。津田長次大目付出陣。津田長次大目付出陣。津田長次大目付出陣。

九月廿四日

別紙

松平岡崎守屋

加納清重

松平岡崎守屋
守屋

毛利清隆若川監物出陣。津田長次大目付出陣。津田長次大目付出陣。津田長次大目付出陣。

毛利清隆若川監物出陣。津田長次大目付出陣。津田長次大目付出陣。津田長次大目付出陣。

八月

右ノ通。松平岡崎守屋。津田長次大目付出陣。津田長次大目付出陣。

日光道中。栗橋守屋。津田長次大目付出陣。津田長次大目付出陣。

五川 追江守
井上 信濃守

當月廿四日。津田長次大目付出陣。津田長次大目付出陣。津田長次大目付出陣。津田長次大目付出陣。

九月廿四日

私儀。津田長次大目付出陣。津田長次大目付出陣。津田長次大目付出陣。津田長次大目付出陣。



